

Step by Step

平成29年11月25日発行

STEP
4



《特集》

こどもたちの今と未来を応援！

- わたしたちの思い～保育士編～／新任医師の紹介
- 病院からのお知らせ

ヒト



みねまつ こうじ
峰松 康治 医師

プロフィール

1965年富山県生まれ。旭川医科大学卒業。
2000年より富山県立高志学園に勤務し、
2008年には園長に就任。現在、小児科部長、
こども発達支援部長として入所部門の総括を務める。日本整形外科学会認定整形外科専門医。



● 大事なものは“環境”づくり。こどもたちの生きる力を育みたい

日本整形外科学会認定の整形外科専門医である峰松先生は、北陸でも数少ない小児整形外科を専門とする医師です。

＊

Q.まずは、先生の専門である小児整形外科について教えてください。

A.小児整形外科とは、言葉のとおり“こどもの整形外科”だけれども、大人の整形外科とこどもの整形外科は似て非なるもの。大人の整形外科では、骨折や腰・膝の痛みなどが多いけれど、こどもの整形外科では先天性の病気や奇形、遺伝性の疾患がメイン。僕は、元々一般の整形外科医だったけれど、専門としていたのがO脚やX脚、四肢短縮など骨の変形矯正でした。これらの疾患はこどもの患者さんがたくさんいて、いつの間にか小児整形外科が専門になりました。

疾患以外にも違いがあって、大人は早い社会復帰のための迅速な対応が求められるけれど、こどもの場合は、1人の人と長いお付き合いをしながら、将来像を見据えた長期計画が必要。成長に伴って変化する問題を、先回りして手を打たなければなりません。成長の段階や生活環境によって行う手術も違ってくるのです。

Q.先生は長く高志学園で勤務され、新病院統合後も入所部門（こども棟）総括をされていますが、こども棟の役割とはどんなものでしょうか？

A.こども棟は、頑張っているこどもたちやご家族を応援する場所。病気や障害などさまざまな理由からお家でこどもと一緒に生活できる環境がない時に、また一緒に生活できるようになるまで僕らが一旦お預かりしますよ。

お母さんがいないと何



もできなくて大泣きしていたこどもが、お母さん以外とも過ごせる力や、自分の気持ちを表現する力、自分の障害を受け入れて人に助けを求める力、そんな力が大事。そんなこどもたちの生きる力を育むことができる病棟にしたい。あくまで主役はこどもたちとそのご家族。僕らは家族と一緒に暮らすための環境づくりをするのが大事な仕事だと思っています。

Q.先生が診療の中で大事にしていることは何ですか？

A.僕がよく言っているのが、「痛がらせるな、泣かせるな、怖がらせるな」と。痛い治療をする時にこどもが泣くのは、痛いからというより“怖い”から。雰囲気のを和らげるために、例えばバカ話をしてお母さんを笑わせる。お母さんや周りのスタッフが笑っていると、こどもは大丈夫。そういった周りの雰囲気、環境づくりを大事にしています。

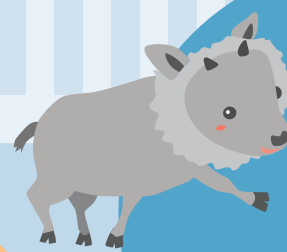
＊

先生の趣味を聞くと、海釣り、バイク、剣道、熱帯魚、プラモデルやゲームなど実に多彩。これは、こどもたちと話すときの話題としても役に立っている。例えば「勉強きらい」「学校に行けない」というこどもに、戦闘ゲームになぞらえて「武器は勉強だけじゃないよ。他の武器もあったらいいよね」「1人で戦おうとしてない？ パーティを組もう」と話すとうれしくなるそう。「言いたいことが言えなくて身を隠す場所もなかったこどもたちに、身を隠す場所をつくり、他にも選択肢がたくさんあることを伝えたい」と話す。

何だか峰松先生と話すのが楽しみになりそうですね。ちょっと覗いてみたくなりませんか？

峰松先生の外来は、
月・水・金曜午前です。

※受診をご希望の方は、お電話等にてご相談ください。



モ ノ

こども支援センターの中は、おなじみの病院キャラクター「かえるのコエル」たちをはじめとした、富山の豊かな自然や動物、風景などを取り入れた「こどものための環境アート」が各所に描かれています。

また、お子さんたちの生活の場ともなる「こども棟」では、お子さんはもちろん、ご家族にも安心の工夫がいっぱいです。

夏、中庭でプール遊びが楽しめます。暑い夏には、プールからこどもたちの元気な声が聞こえてきます！



光をいっぱい取り込んだ開放感のある食堂では、こどもたちが作った季節ごとの作品も飾られ、楽しく食事ができる空間です。



ようこそ！ こども棟へ

こどもたちが気持ちよく生活を送れるように、週3回の入浴を心掛けています。



たんぼぼ・ひまわり・こすもすの3つのユニットで構成されたこども棟。木のぬくもりが感じられる4人部屋は、採光とプライバシーに配慮した造り。



ご家族と一緒に泊まれる親子入所室。隣のデイルームには、ミニキッチンやお風呂があり、付き添いするご家族も安心。



潜水艦をイメージしたプレイルーム。まるで海の中にいるような、こどもたちにとってリラックスできる遊び場となっています。



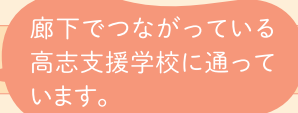
コト



こども棟に入所するお子さんたちは、おとなりの高志支援学校に通いながら、それぞれのお子さんが在宅に戻って、地域で自立した生活を送るために必要な、治療・訓練・支援などを受けて生活しています。そんなこども棟の1日をご紹介します！

おはよう☀
こども棟の1日のはじまりだよ！



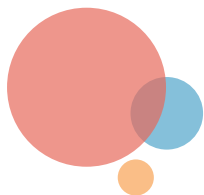
6:00	起床	
	着替え、排泄、歯みがき、洗面など	
7:30	朝食	
8:15	朝集会	
8:30	登校	
12:10	昼食（休日のみ）	
下校後	おやつ	
	入浴（月・木曜日は女の子、火・金曜日は男の子）	
	病棟訓練	
	余暇時間	
	こども会	
17:00	自習時間	
18:00	夕食	
19:00	余暇時間	
21:00	消灯	

おやすみ
また明日🌙



そのほか、さまざまな理由により、居宅において介護を受けることが一時的に困難となったお子さんを対象にした「短期入所」、日中に看護するご家族などがないために一時的に見守り等の支援が必要となったお子さんを対象にした「日中一時支援」も行っています。詳しくは、スタッフにお尋ねくださいね。





わたしたちの思い ～保育士編～

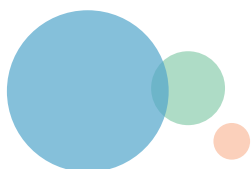


「こども棟」では、幅広い年齢のこどもたちが協力しながら集団生活を送っています。“保育士”というと、保育園の先生を思い浮かべる方が多いと思いますが、こども棟の保育士・児童指導員は、こどもたち一人ひとりの特性を理解し、時には親、時には友人のように接しながら、こどもたちにより近い存在として発達をサポートしています。私たちは、こどもたちがいろいろなことを感じながら成長し、より豊かな生活になるよう様々な工夫をしています。

日々の生活の中で、こどもたちの“お楽しみ”の一つが、おやつの時間です。みんなの希望を聞きながら、その時間がより楽しいものになるように企画しています。カップケーキを作った時には、卵を割る⇒粉を混ぜる⇒カップに入れる、それぞれできることを分担し、工程を楽しみました。普段は元気いっぱいな子も、他の子が作業している時には真剣な眼差しに…。カップケーキが焼きあがった時には、おいしい匂いに誘われて、思わず口がモグモグ…。また、季節を感じるかき氷やアイスクリーム、なかなか丸く焼けないクレープなど、大好きなおやつを通して毎回たくさんの笑い声があふれます。こどもたちのいろいろな姿が見られる時、とてもうれしく思います。

日々、笑顔をもらい、互いに成長していける幸せを感じながら、家庭を離れて治療やリハビリを頑張っているこどもたちが安心して生活できるよう、温かみのある存在でありたいと思っています。

藤井 千愛



新任医師の紹介



本年10月より、整形外科に新しい医師が赴任しました。それでは、瀬川先生、自己紹介をどうぞ！



せがわ たけし
瀬川 武司 先生
(整形外科)

10月より当院に赴任しました整形外科の瀬川武司です。専門分野は、橋本院長と同じく手の外科です。富山に来てから5年間、富山県立中央病院や富山県厚生農業協同組合連合会滑川病院で手外科領域の疾患・四肢の外傷などの手術を中心に仕事をしてきました。

これまでは急性期病院での経験しかありませんので、今後はリハビリテーション病院での仕事を学びつつ、手術も継続して、病院に貢献したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

● 病院からのお知らせ

*詳細は、ホームページまたは、総合受付横の案内板でご確認ください

12月

5日(火)	教室	糖尿病教室(病気・薬の知識)
	サロン	ほのぼの、ぴあサロン(高次脳機能障害)
6日(水)	サロン	保護者サロン(発達障害・未就学児)
12日(火)	教室	糖尿病教室(食事の基本、運動療法)
19日(火)	教室	糖尿病教室(健康管理、歯の衛生)
20日(水)	サロン	保護者サロン(発達障害・成人期)
21日(木)	サロン	こども家族グループ(高次脳機能障害)
26日(火)	教室	糖尿病教室(検査、食事の管理)
	講座	ほっぴ支援講座(発達障害・青年成人期編)

1月

9日(火)	教室	糖尿病教室(病気・薬の知識)
16日(火)	サロン	ほのぼの、ぴあサロン(高次脳機能障害)
	教室	糖尿病教室(食事の基本、運動療法)
18日(木)	サロン	こども家族グループ(高次脳機能障害)
23日(火)	講座	ほっぴ支援講座(発達障害・就労編)
	教室	糖尿病教室(健康管理、歯の衛生)
24日(水)	サロン	保護者サロン(発達障害・学齢期)
	教室	高次脳機能障害家族教室(自動車運転)
30日(火)	教室	糖尿病教室(検査、食事の管理)



● 県民公開講座「超高齢社会に向けて」

● 12/9(土) 14:00～16:00
● サンシップとやま

参加無料

● 外来診療案内 受付時間【午前】8:30～11:00【午後】13:00～15:00 診療時間 9:00～17:00

平成29年10月1日現在

診療科	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○		○		○		○		○	
神経内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
整形外科	○	○	○		○		○		○	
リハビリテーション科	○		○		○		○		○	
泌尿器科					○		○	○		
精神科				○	第1・3					○
脳神経外科							○			
皮膚科						○				
眼科						○				休診中
耳鼻咽喉科				○				○		
歯科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児神経科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小児整形外科	○	○	○		○		○	第1・4	○	○
子どもの心(児童精神科)					○	第2・3・4	○	○	○	○

● 交通アクセス



■ あいの風とやま鉄道線東富山駅下車、東富山駅より徒歩バス
東富山駅より徒歩バス→リハビリセンター行乗車、終点下車

■ 北陸自動車道

金沢方面＝富山西ICより国道8号線方面へ向かい、本郷西交差点右折、国道8号線新屋交差点左折
新潟方面＝滑川ICより国道8号線方面へ向かい、稲泉交差点左折、国道8号線新屋交差点右折

■ 富山駅南口バスターミナルより徒歩バス(所要時間約30分) リハビリセンター行 乗車、終点下車

富山地方鉄道 路線バス時刻表

平成29年7月31日改正

平日(月～金曜日)ダイヤ

土曜・日曜・祝日(8月14日～16日)(12月30日～1月3日)ダイヤ

リハビリセンター行き (下赤江・豊若町・済生会病院経由)				中央病院行き (下赤江・富山駅前経由)				リハビリセンター行き (下赤江・豊若町・済生会病院経由)				中央病院行き (下赤江・富山駅前経由)			
富山駅前	県リハビリセンター南口 (フークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前	富山駅前	県リハビリセンター南口 (フークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前	富山駅前	県リハビリセンター南口 (フークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前	富山駅前	県リハビリセンター南口 (フークセンター前)	県リハビリセンター (新病院正面玄関前)	富山駅前
8:00	8:28	9:06	9:40	8:10	8:38	9:31	10:00	8:10	8:38	9:31	10:00	8:10	8:38	9:31	10:00
9:15	9:46	10:06	10:40	9:30	9:58	10:16	10:40	9:30	9:58	10:16	10:40	9:30	9:58	10:16	10:40
10:55	11:26	11:36	12:05	11:30	12:01	12:06	12:05	11:30	12:01	12:06	12:05	11:30	12:01	12:06	12:05
12:25	12:56	13:06	13:35	12:30	13:01	13:06	13:35	12:30	13:01	13:06	13:35	12:30	13:01	13:06	13:35
13:55	14:26	14:36	15:05	14:30	15:01	15:06	15:05	14:30	15:01	15:06	15:05	14:30	15:01	15:06	15:05
15:55	16:26	16:56	17:25	16:20	16:51	17:06	17:25	16:20	16:51	17:06	17:25	16:20	16:51	17:06	17:25
17:25	17:56	18:19	18:50												



病院の情報をもっと知りたい方は、ホームページにアクセスしてね!



【お問合せ先】

◆ 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

〒931-8517 富山県富山市下飯野36番地 ☎(076)438-2233(代)

ホームページ <http://www.toyama-reha.or.jp>